

学年	教科等	単元名	日時
第5学年	国語科	物語の中の変化を楽しもう [教材:「世界でいちばんやかましい音」]	平成29年6月27日(火)5校時
<p>【問題意識や目的意識を持続させる単元構成の工夫】 物語の中の変化を表し、物語を推薦する「物語変化ポスター」を単元のゴールとして設定し、完成したポスターを図書室に掲示すると伝えることで、単元をとおした目的意識をもてるようにする。また、一単位時間の導入で山場を捉えることにつながる学習問題を設定していくことで、問題意識を持続できるようにする。</p> <p>【言葉を吟味し合わせる手立ての工夫】 ガヤガヤの町が静かになったきっかけと思う箇所を出し合わせ、教師がその考えを短冊に書く。そして、学級全体で対話しながら山場までの流れを高低差で表すように黒板に貼る。そうすることで、視覚的に言葉と言葉の関係を考えられるようにする。また、町が静かになった一番初めのきっかけについて発問することで、言葉の意味や前後関係に着目しながら、山場へ向かうきっかけが何かを吟味し合うことができるようにする。</p> <p>【何が身に付いたか】をふりかえらせる手立ての工夫】 話し合う際に、自分の考えを変えたり、仲間の考えに共感したりしている子どもを取り上げ、その理由を問うことで、山場へ向かうきっかけについて考えられていることを自覚させる。さらに、終末段階で、町が静かになったきっかけとなる箇所を強調して音読させることで、本時の学びを実感できるようにする。</p>			

問題意識や目的意識を持続させる単元構成の工夫

「物語変化ポスター」を作成するために、教材文に含まれる「変化」をテーマに、毎時間、学習問題を設定していくようにした。本時は、視写をさせて、「町が静かになったきっかけ」に目を向けられるようにした。

王子様の変容をふりかえるための視写

この文を読んでみると、王子様が変わったのは、なぜ分かる？

町が静かになったからじゃないかな。

それじゃ、どうして町が静かになったのかな？

問題意識を持続させる導入

言葉を吟味し合わせる手立ての工夫

教材文巻物を活用して、町が静かになったきっかけと思う箇所とその理由について話し合わせた。その後、子どもたちの考えを短冊に書き、山場までの流れを高低差で表すように短冊を黒板に貼った。

町が静かになった一番初めのきっかけは？

「声を出さないでいたら？」と、だんなさんが言ったところじゃないかな。

やっぱり、おくさんが「世界でいちばんやかましい音を聞いてみたい。」と言ったところじゃないかな。

言葉を吟味し合わせるための言語活動や板書の工夫

「何が身に付いたか」をふりかえらせる手立ての工夫

話し合いの段階で、自分の考えを変えたり、仲間の考えに共感したりしている子どもを取り上げ、その理由を聞くようにした。

終末の段階で、町が静かになったきっかけとなる箇所をグループ全員で強調して音読させようとした。→時間不足で、行っていない。

王子様ではない人が「世界でいちばんやかましい音」を聞いてみたいと思ったからだよ。

〇〇くんは、途中で考えを変えていたね。どうして？

〇〇くんの意見を聞いて、静かになったのは、王子様以外の人が関係していると思ったからです。

きっかけについて、詳しく考えられるようになったな。

学びの実感

授業をふりかえって…

- 教師側と子ども側の目的意識や問題意識が合致していない。教師が「手立てありき」で授業を進めても、子どもが思考を深められなければ効果はない。今後は、子どもが自然に言葉に向き合えるように、実態に合った言語活動や発問を絞って提示していきたい。
- 「何が身に付いたか」と学びを実感させるためには、話し合う前や後での自分の考えを整理する時間を設定していく必要がある。

○ 指導計画（10 時間）：詳細については次頁に記載

- (1) 単元のゴールの姿から単元のめあて及び学習計画を設定する。————— 2 時間 【関・意・態】
- (2) 教材「世界でいちばんやかましい音」の大体の内容やおおまかな文章構成を捉える。———— 2 時間 【読】【言】
- (3) 登場人物の心情を捉えて、物語の山場について考える。————— 3 時間 【読】【言】
 - ・ 始まりの場面と終わりの場面の比較…………… 1 【読】【言】
 - ・ 王子様の変化について…………… 1 【読】【言】
 - ・ 山場で起きる変化のきっかけについて…………… 1 (本時) 【読】【言】
- (4) 本教材で「物語変化ポスター」を作成し、紹介し合う。————— 1 時間 【読】【言】
- (5) 並行読書してきた他の物語で「物語変化ポスター」を作成し、感想を交流する。————— 2 時間 【関・意・態】【読】【言】

○ 本時の目標

ガヤガヤの町が静かになったきっかけについて話し合い、山場までの流れを捉えることができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 本時学習について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 王子様の変容 ○ 本時の学習問題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ガヤガヤの町が静かになったきっかけは何だろう。 </div> <p>2 本時学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の範囲 P4801～P60 ○ 学習問題に対する予想 <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが音を聞こうとしたこと 等 ○ 学習の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材文巻物への記入 <p>3 町が静かになったきっかけについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを付箋紙へ記入 ○ グループで一つの教材文巻物へ付箋紙貼付 <ul style="list-style-type: none"> ・ ある小さな町で、一人のおくさんがだんなさんに話をしていました。 →会話から静かにすることが広まったから。 ・ 「わたし一人くらいだまってたって、分からないわ。」 →だまるという考えをもち始めたから。 等 <p>4 町が静かになったきっかけについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界でいちばんやかましい音が聞きたい王子様 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 「わたし、世界でいちばんやかましい音というのを、ちょっと聞いてみたい気がするの。」 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 別に悪気はなかったのですが、この会話が、世界中に広まったから。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 静けさと落ち着きを気に入った王子様 ⇒世界でいちばん静かな町へ <p>5 本時の学びをふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 山場へ向かうきっかけについて ○ ことばの力を基にしたふりかえり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「静けさと落ち着きを知った。」という文を視写させることで、王子様の変容をふりかえり、ガヤガヤの町が静かになったきっかけは何かという問題意識をもてるようにする。 ○ 教材文を確認せずに学習問題に対する予想をペアで話し合わせることで、世界中の人々が音を聞こうとしたことについて着目すればよさそうだという見通しをもてるようにする。 ○ 町が静かになったきっかけと思う箇所を選び、付箋紙にその理由を書かせる。さらに、グループで一つの教材文巻物へそれぞれの付箋紙を貼らせて考えを話し合わせることで、それぞれの考えの中にある言葉を視覚的に捉え、その意味について吟味し合うことができるようにする。 ○ グループで話し合ったことを基に、町が静かになったきっかけと思う箇所を出し合わせる。その際、子どもたちの考えを短冊に教師が書き、学級全体で対話しながら山場までの流れを高低差で表すように黒板に貼ることで、視覚的に言葉と言葉の関係を考えられるようにする。 ○ 「どれが、町が静かになった一番初めのきっかけなのでしょう。」と発問することで、言葉の意味や前後関係に着目しながら、山場へ向かうきっかけが何かを吟味し合うことができるようにする。 ○ 教材文巻物をグループ全員でふりかえらせながら、町が静かになったきっかけとなる箇所を強調して音読させる。そうすることで、山場までの流れを捉えたことを実感できるようにする。

○ 学びの本質に向かっている子どもの姿

町が静かになったのは、世界中の誰もが声を出さなかったからだよね。そのきっかけは、世界でいちばんやかましい音を聞いてみたいという王子様以外の言葉だったということが、〇〇さんの考えではっきりしたよ。ここから少しずつ山場へ向かい始めているね。

【読む能力】



学習問題

世界でいちばんやかましい音
ベンジヤミン・エルキン
ガヤガヤの町が静かになったきっかけは何
だろう。

王子様

世界でいちばんやかましい音が聞きたい

さけぶという考えに、全世界の人が賛成した。

ある小さな町で、一人のおくさんが
だんなさんに話をしていました。

世界でいちばんやかましい音とい
うのを、ちよつと聞いてみたい。

声は出さないでいたら？

別に悪気はなかつ
たのですが

わたし一人くらいだまってたつて、
分からないわ。

世界中に考えが広まる。

初めて、ガヤガヤの町は、
しんと静まり返った。

静けさと落ち着きを知った

静かになった
ガヤガヤの町の
挿絵

「世界でいちばんやかましい音を聞いてみたい。」
という王子様以外の人の言葉がきっかけ。
山場（向かうきっかけ（入口））がある。

【導入段階】

解釈発問

王子様が静けさと落ち着きを知ったのは、どうして。

確認発問

ガヤガヤの町が静かになったから。
ガヤガヤの町が静かになったきっかけは何か、ペアで予想してみよう。
みんなが世界でいちばんやかましい音を聞こうとしたことではないかな。
静かにしようという考えが世界中に広まったことではないかな。

【考えをもつ段階】

解釈発問

ガヤガヤの町が静かになったきっかけだと思ふところを選び、その理由を付箋紙に書いて教
材文巻物に貼ってみよう。また、グループの教材文巻物にも付箋紙を貼って、町が静かになっ
たきっかけが何かを話し合ってみよう。

ある小さな町で、一人の奥さんが旦那さんに話をしていたところだと思ふよ。だって、この
会話から静かにすることが広まっているよね。

「わたし一人くらいだまってたつて分からないわ。」という考えが世界中に広まったからだ
と思ふよ。

「声を出さないでいたら？」と、旦那さんがアイデアを出したからではないかな。何も言わ
なければ、静かにするという考えは広まらなかったよ。

【考えが固まってきた段階】

解釈発問

どうして、町の名前を書かずに「ある小さな町で」と書いているのかな。

解釈発問

そのように書いた方が、ガヤガヤの町から遠く離れた所という感じがするから。
王子様の誕生日を、みんなで祝いしようという気持ちがあったのかな。

「別に悪気はなかったのですが」という言葉がくり返し使われているから、お祝いしようとい
う気持ちはあったと思ふよ。「台なしにするつもりはありませんでした。」という文もある
からね。

お祝いしようという気持ちはあったけれど、それよりも「世界でいちばんやかましい音を聞
きたい。」という気持ちの方が強かったのだと思ふよ。

評価発問

（話し合いの中で、自分の考えを変えたり、仲間の考えに共感したりしている子どもを取り上げ
て）どうして、そのように考えたの。

「わたし一人くらいだまってたつて、分からないわ。」というところがきっかけだと思つて
いたけれど、話し合つてみて、「世界でいちばんやかましい音を聞いてみたい。」と、王子様
以外の人が言ったところがきっかけだと思ふようになった。

評価発問

どれが、ガヤガヤの町が静かになった一番初めのきっかけなんだろう。

奥さんと旦那さんが話をしていただけではきっかけにならない。その中で、「世界でいちば
んやかましい音を聞いてみたい。」という話題になったことが、きっかけになっているよ。

ふりかえり

グループの教材文巻物を使って、ガヤガヤの町が静かになったきっかけにあたる所を強調し
て音読してみよう。また、今日の学習でどんなことが分かったかふりかえってみよう。

○ ○さんの考えを聞いて、「世界でいちばんやかましい音」という言葉が、王子様以外の人
から出てくるところがきっかけになっていることがよく分かったよ。

こうやって読んでみると、物語の中が変わるきっかけになっているところは、山場（向かう
入口）みたいだな。

○ 単元指導計画 (10 時間)

段階	主な学習活動及び学習内容 ※ 吹き出しは予想される子どもの問題意識や目的意識	教師のかかわり	具体的な評価規準
生み出す	<p>1 単元のゴールの姿から単元のめあてを設定する。 <1時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身に付けたいことばの力 ◇ 物語の山場を捉える力 ○ 単元のめあて <p>物語の中の変化をとらえて、「物語変化ポスター」で物語をおすすめしよう。</p> <p>たくさんの人が読みたくなるように、まずは、教科書で山場をはっきりさせていこう。</p> <p>(2) 2 教材を通読し、学習計画を立てる。 <1時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初発の感想 ○ 学習計画の設定 ○ 新出漢字の練習 ○ 語句の意味調べ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読んだことのある物語について、山場までの流れが分かる図や文章を提示する。そして、始めと終わりでは何がどのように変わったかを子どもに整理させることで、物語の中には変化があることに気付けるようにする。 ○ 物語の中の変化を表し、物語を推薦する「物語変化ポスター」を単元のゴールとして設定する。そして、完成したポスターを図書室に掲示することを伝えることで、単元をとおして、物語のおもしろさを伝えようとする目的意識をもてるようにする。 ○ 物語の山場を予想させたり、物語のおもしろさについて感想をまとめさせたりして、互いの考えを交流させることで、学習の見通しをもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山場を捉えて物語を推薦することに関心をもち、登場人物の相互関係や心情を捉えることに意欲をもっている。(関・意・態)
挑む	<p>3 教材の大体の内容やおおまかな文章構成を捉える。 <2時間></p> <p>「中」のところで変わりそう。</p> <p>4 登場人物の心情を捉えて、物語の山場について考える。 <3時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 始まりの場面と終わりの場面の比較 <p>どうして終わりでは、「ようこそ」という言葉があるのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 王子様の変化について <p>王子様の「身を乗り出す」と「はしゃぐ」という言葉はどう違うのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 山場で起きる変化のきっかけについて <p>ガヤガヤの町が静かになったきっかけは、何だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場面分けをした後に、それぞれの場面に名前を付けさせる。さらに、「始め・中・終わり」で物語を分けさせることで、おおまかな文章構成を捉えられるようにする。 ○ 毎時間ごとに、山場を捉えることにつながる学習問題を設定していくことで、問題意識を持続できるようにする。 ○ 個人とグループで教材全文を記載した巻物をもたせて考えを記録させていくことで、物語の中の変化を視覚的に捉えるとともに、言葉を吟味し合うことができるようにする。 ○ 始まりと終わりの場面に共通して書かれている町の立て札を比較させることで、町がどのように変わったか叙述を基にまとめることができるようにする。 ○ 王子様の言動が書かれている所にサイドラインを引かせる。その言動を基に気持ちが変わったと思う所に付箋紙を貼らせてグループで話し合わせることで、王子様の変化について捉えることができるようにする。 ○ 町が静かになったきっかけについて、子どもの考えを短冊に書く。そして、学級全体で対話しながら山場までの流れを高低差で表すように貼ることで、視覚的に言葉と言葉の関係を考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文巻物を使いながら、登場人物の相互関係や心情を捉えている。(読) ○ 始まりと終わりの場面や中心となる人物の変化を基に、山場を捉えている。(読) ○ 反復や問いかけ、比喩といった表現の工夫に気づき、その効果を捉えている。(言)
生かす	<p>5 本教材について「物語変化ポスター」を作成し、紹介し合う。 <1時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 山場までの出来事の整理 ○ ポスターの作成 <p>山場までの流れを図や文章で表して、物語のおもしろさをおすすめするぞ。</p> <p>(3) 6 他の物語で「物語変化ポスター」を作成し、感想を交流する。 <2時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポスターについての感想交流 ○ 初発の感想と今の感想の比較 <p>初めよりも、物語の中の変化をよくつかんでいるな。これからも物語のおもしろさを見付けたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文巻物を基に、物語の設定や山場までの流れをふりかえらせることで、本教材の「物語変化ポスター」を作成することができるようにする。 ○ 前時に作成したポスターを参考にしながら、並行読書してきた物語についてのポスターを作成させることで、身に付けてきたことばの力を生かすことができるようにする。 ○ 改めて、本教材のおもしろさについて感想をまとめさせ、初発の感想と比較させることで、山場を捉えて物語を読めたという学習の達成感を味わえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山場までの出来事や物語全体のおもしろさを図や文章で表現している。(読) ○ 表現の工夫に気づき、その効果を捉えて物語を推薦している。(言) ○ 山場を捉えられたという成就感をもち、図書室に掲示して、多くの人に推薦したいという意欲を高めている。(関・意・態)

本時 5/5